

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産研究費

事業名 家畜性判別胚供給事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

畜産研究所 電話番号：0577-68-2226

E-mail：c24509@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,822 千円 (前年度予算額：1,822 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,822	0	0	88	1,734	0	0	0	0
要求額	1,822	0	0	88	1,734	0	0	0	0
決定額	1,822	0	0	88	1,734	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・乳牛改良により、酪農経営の安定化を図るため、乳用牛の性判別胚 (受精卵) を希望する酪農家に譲渡するとともに性判別胚利用の実技支援を行う。

実施期間 H20～

(2) 事業内容

- ・性判別胚の譲渡に必要な経費 1,822 千円

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	94	全国会議等への参加経費
消耗品費	1,513	性判別胚等にかかる消耗品(性判別キット、性腺刺激ホルモン等)
原材料費	215	人工授精用精液
合計	1,822	

決定額の考え方

事業評価調書

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 - ・高能力乳用牛の雌胚を年間60卵程度県内の酪農家へ供給し、県内乳用牛の改良を促進し酪農経営の向上に資する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
優良雌胚の譲渡	0胚 (H19)	54胚/年 (H21)	70胚/年 (H28)	66胚/年 (R1)	75胚/年 (R3)	88.0%
農家が所有する授精胚の雌雄判別	0胚 (H19)	3胚/年 (H21)	0胚/年 (H28)	0胚/年 (R1)	10胚/年 (R3)	0%

○指標を設定することができない場合の理由

—

(前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - ・譲渡可能な高能力乳用牛由来の雌胚を60胚以上県内酪農家へ譲渡する。
 - ・農家が所有する胚の雌雄判別を10胚以上実施する。
 - ・凍結された雌胚の融解方法を獣医師や受精卵移植師に教える。

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 - ・凍結された雌胚の融解方法を獣医師や受精卵移植師に指導した。
 - ・雌胚の譲渡は計画通り順調に行われている。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・乳用牛の改良は雌牛の改良が中心になる。T P P 等で農家経営の存続が危ぶまれている中、乳用牛の改良促進による農家経営の向上は重要である。 ・雌雄判別技術は特殊施設や多くの機械器具を必要とするため、開業獣医師や受精卵移植師では対応できない。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・高能力乳用牛の雌胚のニーズは多く、生産が追い付かない時もあるが、指標の9割程度達成できている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> ・研究成果により効率的に胚の生産ができるようになった。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに十分対応できる高能力乳用牛の雌胚の生産 ・利用者が簡便に利用できる（庭先融解など）凍結方法の確立

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <ul style="list-style-type: none"> ・ドナーとなる高能力乳用牛を効率的に生産する技術の開発を重点研究で令和2年度から実施している。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	

